

特別支援学校の センター的機能



北九州市教育委員会

特別支援学校のセンター的機能の5つの取組

1 訪問相談・来校相談	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校・園等の子どもへの支援や指導方法についての相談 ○ 校内支援体制や個別の指導計画作成についての支援 ○ ケース会議等への参加
2 移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校就学に向けた支援 ○ 中学校進学に向けた支援 ○ 個別の教育支援計画の作成や活用についての相談
3 公開研修会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校・園等の教職員を対象に、特別支援教育に関する研修会や教材教具活用展等を公開
4 研修会等への協力	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校・園等の校内研修会についての相談、協力 ○ 特別支援教育コーディネーター（Co）連絡会議に、助言者として参加
5 教材等の紹介・貸出、 情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ○ 検査器具、書籍、教材等の紹介や貸出 ○ 検査後の結果処理や指導に生かす方法の相談 ○ ホームページ等で、センター的機能に関する情報や教材等の紹介

I 訪問相談・来校相談

- 学校・園等を訪問し、行動観察等による実態整理を行い、課題と取組の方向性を明確にします。また、校内支援体制や個別の指導計画作成への支援、子どもへの支援や指導方法等について相談に応じます。
- 必要に応じてケース会議等への出席や関係機関の紹介を行います。
- 来校する学校・園等の職員・保護者の相談を聞き、実態を整理し、課題と取組の方向性を明確にして在籍校・園等での指導に生かします。

訪問相談の流れ

①支援要請

- ・校長間の連絡
- ・Co間の連絡
- ・訪問相談チェックシート

②学校訪問

- ・行動観察等による課題の整理
- ・協議会
- ・個別の教育支援計画等への助言
- ・課題解決に向けた取組の提案

③支援の継続

- ・支援の評価
- ・引継ぎに関する助言

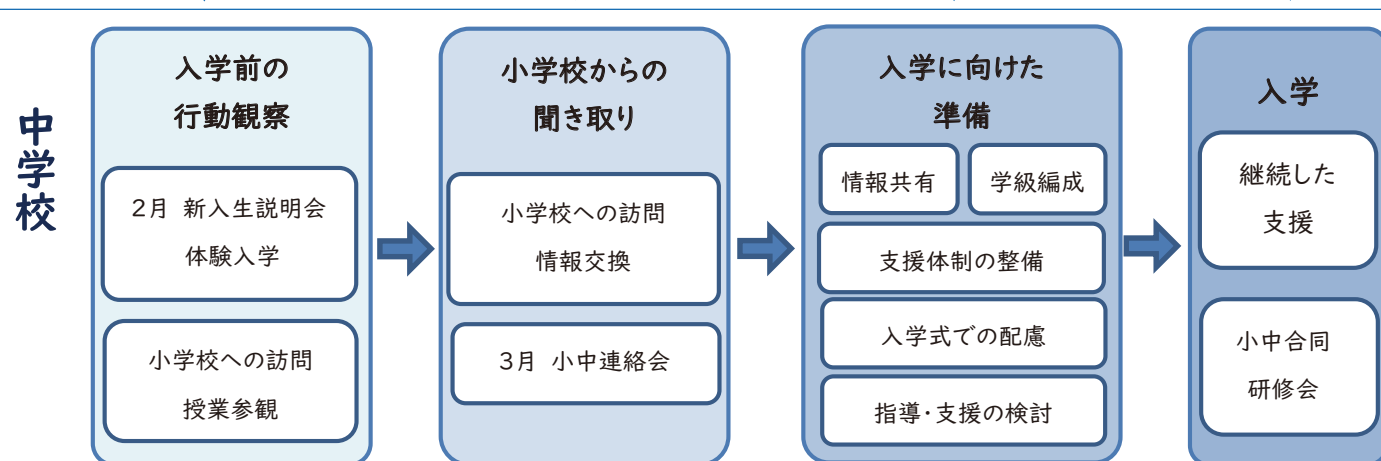
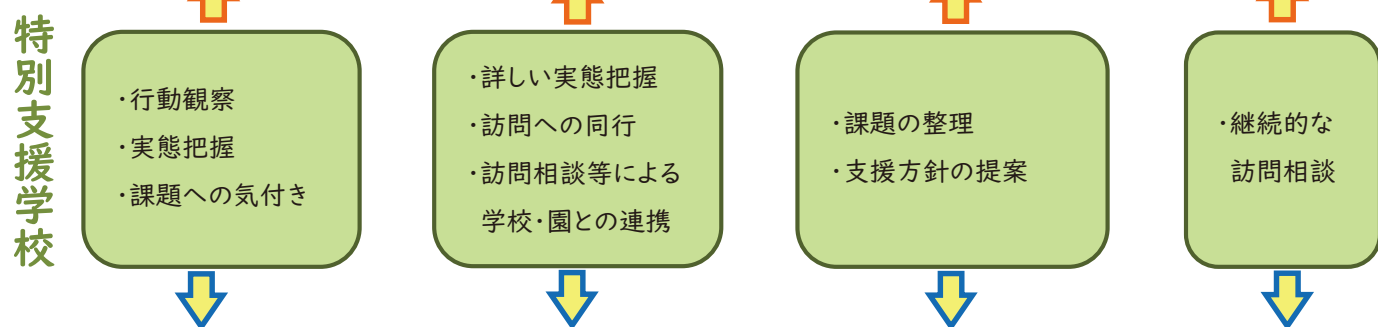
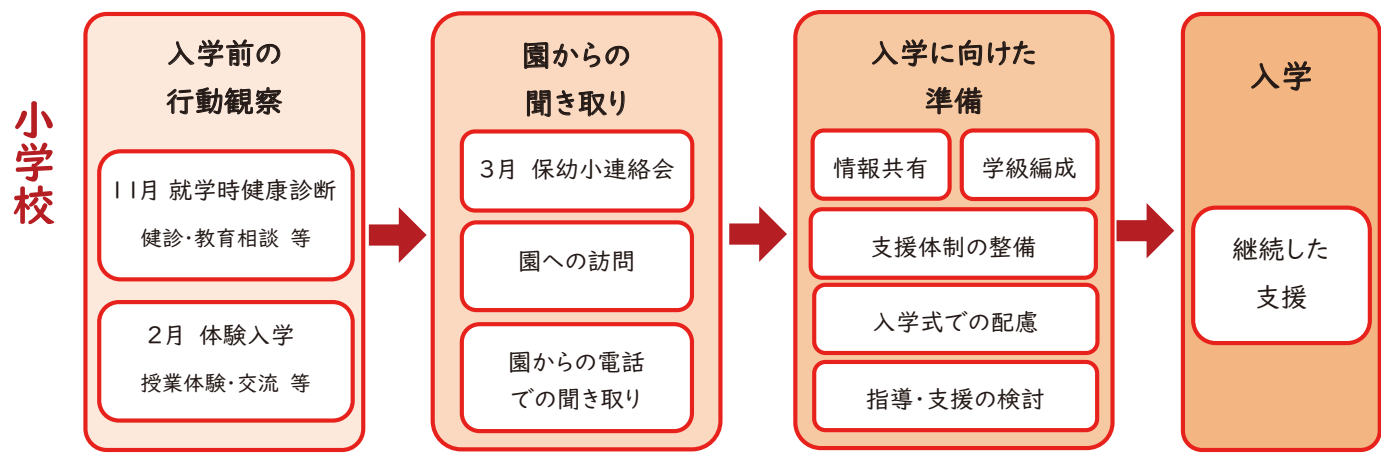


※ 要請時に必要な【訪問相談チェックシート】は、各地区の特別支援学校のHPからダウンロードできます。
詳しくは、担当の特別支援学校までご連絡ください。

2 移行支援

幼稚園・保育所等から小学校への移行支援（就学時移行支援）

- ・ 小学校の要請に応じて就学時健康診断や体験入学での行動観察、保幼小連絡会への参加等を行い、幼稚園・保育所等から小学校へのスムーズな移行を支援します。



小学校から中学校への移行支援

- ・ 中学校の要請に応じて小学6年生の授業場面での行動観察、情報交換会への参加等を行い、小学校から中学校へのスムーズな移行を支援します。

3 公開研修会等の開催

- 学校・園等の教職員を対象に、特別支援教育に関する研修等を公開します。令和5年度の様子をご紹介します。

「特性を踏まえた学習指導」をテーマに、講演・ワークショップを行いました。

日時：令和5年7月28日(金) 13:30～16:30

参加者：幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校職員 計258名

方法：「Microsoft Teams」による開催(個別・集合型)

内容：① 講演 「ワーキングメモリの特性を踏まえた学習指導の実際」
福岡教育大学 教職大学院 准教授 河村 暁 氏

② ワークショップ

- ① 個別指導で活用できる教材の紹介と作成
 - ・手を動かして考えよう「くり上がりボード」
 - ・ワーキングメモリをきたえよう
「めくって おぼえて はい どうぞ」
- ② タブレット端末で活用できる教材の紹介

～参加者の感想～

- 学習や生活で困っている子どもの多くは、ワーキングメモリに困難さがあると改めて感じます。どの子もやる気はあるのにうまくいかない、その背景を探り見付けたり、うまくいく工夫を考えたりしていくことが大切だと思いました。
- ワーキングメモリにも、言語と視空間や処理と保持など、様々なものがあることを初めて知りました。特に、処理と保持について、生徒に身に付けさせたい力と、私たち教員が配慮しなければならないこと(例えば、処理か保持どちらかに集中できるような環境をつくるなど)があることを十分に理解し取り組んでいきたいです。
- ワークショップでは、手作りで教材を作ることによって、自分自身で様々な工夫ができてよと感じました。工夫次第で教科を問わず利用でき、汎用性が高いと感じます。繰り上がりのたし算が動作化でき、視覚的に理解できるところがよいです。足し算の筆算だけではなく、引き算や掛け算などにも応用できるように工夫して使っていきたいと思います。
- 教材のアイデアや、日ごろ気付かないことを知る魅力的な研修なので、この研修をととても楽しみにしています。タブレット端末を有効活用できていなかったため、様々な教材をご紹介いただきありがとうございました。授業に早速取り入れていきたいです。



4 研修会等への協力

- 学校・園等の校内の研修会についてのご相談に応じます。
 - ・学校のニーズに応じて、研修会の内容などを一緒に考えます。
 - ・ご依頼の内容によっては、情報提供や関係機関等をご紹介します。

※ 詳しくは、担当の特別支援学校にご相談ください。



5 教材の紹介や貸出、情報発信

○ これまでの公開研修会で作成・紹介した教材です。

一斉指導で活用できる パワーポイント教材

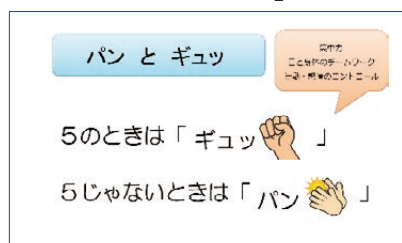
集中力を高めたり、見る力を養ったりする教材です。朝自習や学習の始まりなど、短い時間で活用ができます。

「まねっこ体操(顔)」



感情語彙の習得や感情の種類を認知をねらっています。

「パンとギュッ」



目と身体の協調運動をしながら、注意集中や行動・感情のコントロールの力を育てます。

「パワーメーター」



心や身体の「元気・疲労度」を電池の残量で示し、見える化します。疲労度に気づきにくい子どもたちが休憩のタイミングや方法を考えるツールです。

「リフレーミングカード」



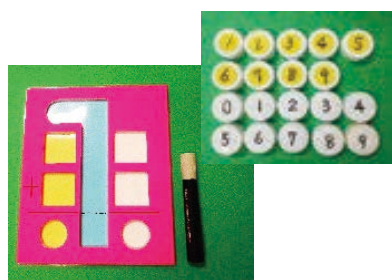
視点や枠組み(フレーム)を変えて、物事を捉え直す「リフレーミング」ができるように、ネガティブな言葉とポジティブな言葉を表裏にしたカードです。

「きもち マッチング」



自己や他者の様々な感情を、ゲームを通して学ぶことができます。いくつかの遊び方ができ、それぞれの実態に合わせた使い方ができます。

「繰り上がりボード」



繰り上がりのある筆算を行う時の補助教材です。操作したり視覚的に示したりすることで位取りの間違いを防ぎます。

「めくって おぼえて はい どうぞ」



ワーキングメモリを働かせるための教材です。絵や文章を覚えてクイズ形式で答えていきます。一人もしくは少人数で、楽しみながら、繰り返し学習をします。

使用する児童生徒の実態に合わせて、カードの数や順序を変更することができます。

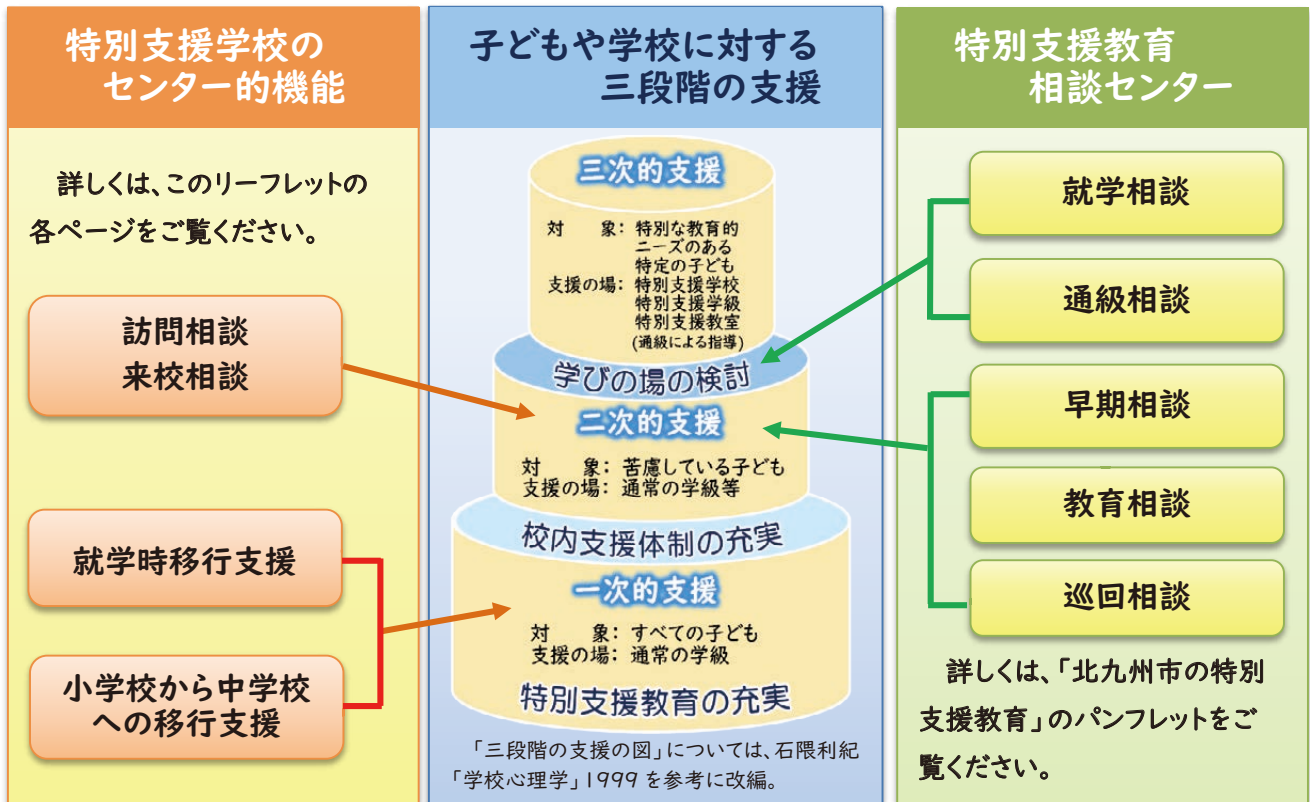
○ 検査器具・書籍・教材等の貸出については、各地区の特別支援学校にご相談ください。

検査器具：田中ビネー知能検査V、WISC-IV、DN-CAS、LDI-R、絵画語い発達検査、WAVES、

LCSA、STRAW-R、森田-愛媛式読み書き検査など

※ 特別支援学校のホームページにも作り方等を紹介しています。ご活用ください。

教育的ニーズに対応する役割に応じた相談支援体制



※ 特別支援学級在籍の児童生徒についてのご相談は、特別支援教育課または特別支援教育相談センターにお問い合わせください。

特別支援学校 8 校の連絡先

	学校名 (● 代表校)	住所・電話
東部地区 (門司区・小倉北区・小倉南区・戸畑区)	● 門司総合特別支援学校 【知的障害・病弱(心身症等)】	門司区矢筈町13番1号 TEL 372-6631
	小倉北特別支援学校【知的障害】	小倉北区下津四丁目3番1号 TEL 592-2103
	小倉総合特別支援学校 【肢体不自由・病弱(慢性疾患等)】	小倉南区春ヶ丘10番3号 TEL 921-0075
	小倉南特別支援学校【知的障害】	小倉南区若園四丁目1番1号 TEL 921-5511
	北九州中央高等学園【知的障害】	戸畑区沢見一丁目3番47号 TEL 861-0112
西部地区 (八幡西区・若松区)	● 小池特別支援学校【知的障害】	若松区大字小敷583番地の1 TEL 601-1298
	八幡特別支援学校【知的障害】	八幡西区鷹の巣三丁目7番1号 TEL 641-8675
	八幡西特別支援学校【肢体不自由】	八幡西区下上津役四丁目8番2号 TEL 612-2210

※ 担当校は、特別支援学校のホームページでご確認ください。